

【手紙を読み上げる】

ある父親が、外国で留学している息子からの手紙を受け取った。彼は字が読めなかったので、隣人に手紙を読み上げてもらいに行くしかなかった。この隣人は声を張り上げて無遠慮に次のように読み上げた。「親愛なる父さん、ぼくにお金を送ってよ…」これを父親は聞くやいなや、激怒して飛び上がって言った。

「この子は長い間手紙を送って来なかったのに、手紙を送ってきても良いことは全く書かない。金を求めるにしても、このようなやり方はないだろう」そう言い終わると、隣人が手紙を読み終わるのを待たずに、手紙を持って帰ってしまった。

数日が過ぎ、別の隣人がその父親の家に立ち寄ったとき、机の上の手紙を見ると、読み上げ始めた。彼は声をひそめてゆっくりと、情感をこめて読み上げた。「親愛なる父さん、ぼくにお金を送ってよ…」父親はそれを聞いて、微笑みながら言った。「それでこそ私の子だ。彼は私を愛している」彼は隣人が手紙を読み終わるまでずっとそれを聞いていた。その後すぐに彼はお金を息子に送ってやった。

以上